













2

「どこへ」、「どのように」避難すればよいか、地図で確認してください（事前準備②）

「いざ避難！」という時のために、ハザードマップを広げて、以下の項目を確認しておきましょう。

1. 自宅とその周辺の水害及び土砂災害の危険な場所を確認しましょう！

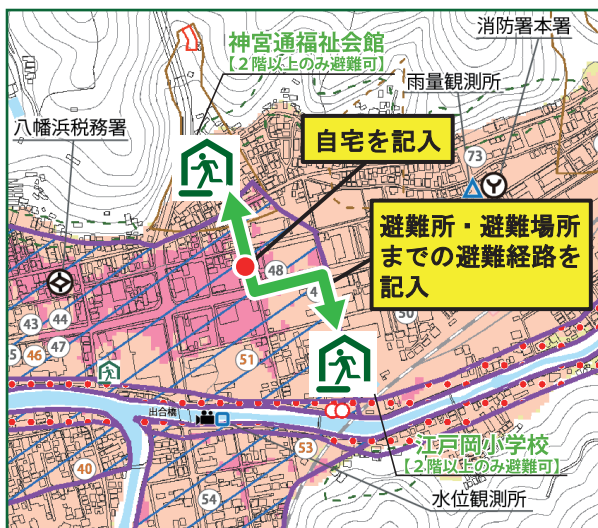
- ①マップ上で**自宅の位置を確認**し、自宅の場所が目立つようにマジック等で印をつけてください。
- ②マップ上で自宅周辺の**水害及び土砂災害の危険な場所を確認**してください（マップ上の凡例を参照してください）。

水害の危険な場所	土砂災害の危険な場所
<ul style="list-style-type: none"> ■ 自宅は浸水想定区域の中にありますか？ ■ 自宅の想定浸水深は何mですか？ <ul style="list-style-type: none"> ▪ 0.5m未満  ▪ 0.5m～3m未満  ▪ 3m～5m未満  ■ 自宅は早期に立退きが必要な区域の中にありますか？ <ul style="list-style-type: none"> ▪ 家屋倒壊等氾濫想定区域   ▪ 家屋が水没するおそれのある区域  	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自宅周辺に土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域はありますか？ <ul style="list-style-type: none"> ▪ 土砂災害特別警戒区域  ▪ 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)  ▪ 土砂災害警戒区域(土石流)  ■ 自宅周辺に土砂災害危険箇所はありますか？ <ul style="list-style-type: none"> ▪ 急傾斜地崩壊危険箇所  ▪ 土石流危険溪流  ▪ 地すべり危険箇所 

詳細は「土砂災害ハザードマップ(H28.5)」で確認してください！



2. 避難所・避難場所を確認し、避難経路を考えましょう！



- ③マップ上で自宅から**最寄りの避難所・避難場所を確認**し、その場所が分かるようにマジック等で印をつけて覚えてください。

水害や土砂災害で被災する危険のある避難所・避難場所は避けましょう。



- ④マップ上で自宅から避難所・避難場所までの**経路を結んで**、家族と一緒に避難経路を考えてください。その避難経路が分かるように、マジック等でマップ上に書き込んでください。

水害や土砂災害の危険箇所、川の近くや橋は避けましょう。

複数の避難所・避難場所、避難経路を考えておきましょう。

避難所・避難場所までの移動時間を推定してください。（特に高齢者等、時間を要する方の移動には余裕をもって）

マップ上で確認する事項

避難所
避難場所
とは

指定避難所	被災者等が一定期間滞るための施設(市が指定)
指定緊急避難場所	一時的・緊急的に避難する場所のうち、市が災害種別ごとに指定しているもの
自主的な緊急避難場所	一時的・緊急的に避難する場所のうち、地域が災害種別ごとに開設するもの

3. 家族や隣近所で災害時の対応を話し合しましょう！



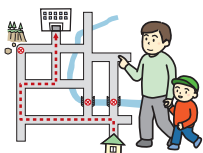
- ⑤避難所・避難場所、避難経路など**水害時の対応を家族や隣近所と話し合い**、「いつ」、「どこへ」、「どのように」避難すればよいか情報を共有してください。

- ⑥被災した場合の**安否確認や連絡方法を家族や隣近所と確認**し、定期的に訓練してください。

NTT災害用伝言ダイヤル(171)

災害用伝言板(web171)

4. 避難所・避難場所、避難経路を歩いて自分で確かめましょう！



- ⑦皆さんが考えた全ての避難経路を実際に歩いて、**避難する際に安全に通行できるか自分の目や感覚で確認**してください。